



(I) 選挙のしくみ

■ 日本の選挙の原則

- ・ [1]]… 成年に達すればだれでも一票をもつ
- ・ [2]]… 一票の価値が平等である
- ・ [3]]… だれに投票したかを秘密にできる
- ・ [4]]… 有権者が自分で直接投票できる



■ 主な選挙制度

- ① [5]] = 各選挙区で得票数一位の候補者が1人だけ当選する制度
 - 強い政党同士の争いになりやすく、二大政党制になりやすい。 = **政権は安定**
 - × 一方、少数政党が勝つ見込みは薄く、少数意見が反映されない。
- ・ 1位の候補者以外は落選となるため、[6]] (落選者への票) が多くなる。
- ② [7]] = 1つの選挙区から二人以上の候補者が当選する制度。
 - ・ これを縮小した仕組みを日本では**中選挙区制**と呼び、1993年までの選挙で採用していた。
- ③ [8]] = 1つの選挙区で、得票数に応じて当選者を配分していく制度
 - 死票が少なく、民意を忠実に反映する
 - × 少数政党が議席を取る可能性が高まり、多くの党が乱立しやすい。 = **政権は不安定に**

+ α 二大政党が拮抗する場合、少数政党がどちらにつくかによって政権が左右されることもある。
ここで中立政党や少数政党が事実上の最終決定権をもつこともあり、**キャスティング・ボード**という。

(II) 日本の選挙制度

■ 日本の選挙権拡大 ※有権者の人口比は、法改正直後の国政選挙での数字

法改正年			有権者の人口比 [※]
1889	第1回選挙	直接国税15円以上を納めた25歳以上の男子	1.1%
1900	第7回選挙	直接国税10円以上を納めた25歳以上の男子	2.2%
1919	第14回選挙	直接国税3円以上を納めた25歳以上の[]	5.5%
1925	普通選挙法制定	満[]歳以上の[] ★男子普通選挙実現	20.0%
1945	衆院選法改正	満[]歳以上の[] ★普通選挙実現	48.7%
2015	公職選挙法改正	満[]歳以上の男女	83.7%

■ 日本の選挙制度

従来の衆院選 …^[9]](日本では中選挙区制と呼んだ)：一つの選挙区から3～5名の当選者



同一政党での争いもあり、余分なカネがかかるという批判

1994 政治改革 →^[10]

]**並立制**が導入(衆議院)

★衆議院議員選挙のしくみ

小選挙区制 全国を289の選挙区に分ける→**各区1人だけが当選**

比例代表制 全国を11の選挙区に分け投票

例

1位	トマト結衣(野菜党)	700票	○
2位	ゴリラ光太郎(動物党)	500票	×
3位	サーモン真紀(魚党)	300票	×
4位	レンジ純一(家電党)	200票	×



票数に応じて議席数を配分

例

野菜党	60%獲得	→ 4人当選
動物党	30%獲得	→ 2人当選
魚党	15%獲得	→ 1人当選

- (1) 小選挙区と比例代表の両方に立候補することができる^[11]]を認めており、小選挙区で落選しても、比例代表で**復活当選**することがある。
- (2) 比例代表の当選者は**あらかじめ名簿にて順位付け**されている=^[12]]
同順位の場合もあり、その際は小選挙区の^[13]]が高い方を優先的に当選させる

★参議院議員選挙のしくみ

選挙区制 原則都道府県ごとの選挙区に分ける→1～6人当選

比例代表制 全国を1つの選挙区として投票

例) 東京都は定数6名

1位	ニンジン武夫(野菜党)	1200票	○
2位	キリン由紀子(動物党)	1000票	○
3位	マグロ慎之介(魚党)	800票	○
4位	玉ねぎ次郎(野菜党)	550票	○
5位	長ネギ五郎(野菜党)	450票	○
6位	トースター蓮(家電党)	380票	○
7位	パンダ俊輔(動物党)	300票	×
8位	サンマ早紀(魚党)	280票	×
9位	ミキサー正人(家電党)	200票	×

例) 新潟県は定数1名

ライオン電太(動物党)	1200票	○
ゴボウ雅夫(野菜党)	1000票	○
ウニ京助(魚党)	800票	○

TOPIC!
原則は都道府県ごのだが
**2016年の参院選から
鳥取島根/徳島高知が
合区となった**

有権者は「**政党名**」か
「**候補者名**」を記入



票数に応じて議席数を配分

例

野菜党	60%獲得	→ 4人当選
動物党	30%獲得	→ 2人当選
魚党	15%獲得	→ 1人当選

- ・「野菜党」と書かれた票→「野菜党」の獲得票
- ・「レタス潤(野菜党候補者)」と書かれた票→「野菜党」の獲得票

- (1) 選挙区と比例代表の**どちらかに**立候補することができる。衆とは異なるので要注意。
- (2) 比例代表の候補者は**順位付けされていない**=^[14]]**比例代表制**
どの政党が何議席獲得するかについては、衆議院と同様の方法で決定するが、
実際の当選者は、候補者への票数が多い順に決められる。=人気順で当選者を決定!

+a 選挙制度の補足

- (1) 衆議院小選挙区の議席配分方法で^[15]]方式を採用へ!
各都道府県の人口比率をより反映できるしくみであり、2022年以降の衆院選から導入される。
- (2) 参議院選挙区で一票の格差是正のため、**鳥取島根と徳島高知が**^[16]]**扱いに**
- (3) 参議院比例代表において、^[17]]の導入
基本は非拘束名簿式を採用する参院選であるが、一部特例で拘束名簿式を活用できるように。

(Ⅲ) 選挙をめぐる課題

□ 投票率の低下

→特に世代間の格差が大きく、高齢者になるほど投票率が上がるため、現在の政治は高齢者に有利な政策が実施されやすいといわれる(=シルバーデモクラシー)

□ [18]]: 人口や議員定数の関係で、一票の価値に不平等が生じている。

※2024 衆院選 _____ 倍 2022 参院選 _____ 倍

解説💡 「一票の格差」とは？

入試でも頻出となっているので丁寧に理解してほしいところ。右の表のように、同じ1人の当選者を出す選挙区で人口に差があると、一方では3000票を得たのに落選し、一方では600票でも当選…という事態が起きる。このように、1票の重みに差が

生まれる問題を、**一票の格差**という。

右の場合、この二つの選挙区間では10倍の格差があるといえる。ちなみに最も格差が大きくなった選挙は衆で4.99倍(1972)、参で6.59倍(1992)と

なっており、選挙区や定数の変更させながら格差是正に努めている。



□ **選挙運動の規制** : [19]]にて、**立候補前**の事前運動・戸別訪問・署名運動を禁止

[20]]…候補者に近い関係にある者が違反で逮捕されたとき、
候補者自身が関係していなくとも当選が無効になる制度

(ex) 選挙運動の期間前後

左：選挙運動期間前、「本人」というタスキをつけて演説

右：選挙運動解禁後、「とよた真由子」というタスキで演説



□ [21]] (= 海外に住む日本人) の投票が可能に

□ インターネットによる運動解禁：2013年にインターネットやSNSでの選挙運動が解禁に。

身近に政治の関心を持てるようになるが、安易な発言は注意する。

また、満18歳未満の選挙運動は禁止されている

※ここで注意したいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

□ 政治的無関心の問題

[22]]: 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える

世論調査の結果や、**内閣支持率**などを新聞やテレビで公開している。

しかし、マスメディアの質問の仕方やアンケートの作り方、グラフの見せ方などによって、印象操作ができてしまうため、鵜呑みにしすぎないような注意が必要。

あふれる情報を読み解き取捨選択する [23]]が求められている。

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では、主体性が失われつつある。特定の支持をもたない [24]]が多く、

若者を中心として [25]]が多いことも今日の問題である。

(IV) 世論の影響

■ メディアの弊害

世論を形成するにあたり、マスメディアが大きな影響を与えることから、^[26]]とも表現される。
 また、近年の世論形成にはインターネットや SNS を用いた^[27]]の影響が大きくなっている。

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では主体性が失われつつある。メディアによって^[28]]されやすいことにも繋がる。インターネットのフィルターバブルや、ニュース番組・新聞社等の意図的な情報操作に惑わされない力が必要になる。

Column 世論操作の一例

(例) 石破新総裁が誕生した直後のニュース番組 左は ANN(テレビ朝日) 右は N スタ(TBS)

緊縮財政・金利上昇を支持する(と言っていた)石破氏が総裁になったことで、円高が進行した様子だが、左側はドル円相場の数字順を逆にするによって、いかにも良くなったような印象を与える。(一般的には右側が適当)



テレビ局や新聞社も基本は中立だが、若干の偏りがある。同じニュースでも報じ方によって異なる印象を与える場合がある。主要な新聞社はテレビ局とも

繋がりがあり、連動することも多い。

明確な定義はないが、朝日・毎日

左寄り(革新)、読売・産経は右寄り(保守)

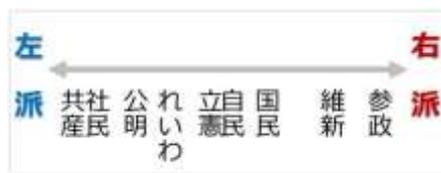
日経は中立と考えられる。

	朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	日本経済新聞
創業	1879年	1874年	1872年	1933年	1876年
発行部数	2位 4,751,459部	1位 7,166,592部	3位 2,011,884部	5位 1,205,916部	4位 1,887,070部
関係テレビ局	tv asahi	0テレ	TBS	フジテレビ	TV TOKYO

+ α 右や左って何? ~政治的立場を示すことば~

左派 (=革新・リベラル)

- ・全体的なイメージ=やさしい
- ・経済のスタンス=平等・分配
- ・政府の大きさ=大きな政府
- ・社会福祉=高福祉・高負担
- ・外交、軍事=平和主義重視
- ・協調関係=労働組合・労働者
- ・多様性重視(LGBT・夫婦別姓)



右派 (=保守)

- ・全体的なイメージ=たくましい
- ・経済のスタンス=競争・成長
- ・政府の大きさ=小さな政府
- ・社会福祉=低福祉・低負担
- ・外交、軍事=防衛強化
- ・協調関係=大企業・経済団体
- ・規制緩和

あくまで大まかな立場を図示したものであり、財政の考え方(緊縮 or 積極)、消費税への立場など、比較内容によって各政党の立場は多様になる。自分の関心がある内容から注目してみよう!



(I) 選挙のしくみ

■ 日本の選挙の原則

- ・^[1] **普通選挙**]… 成年に達すればだれでも一票をもつ
- ・^[2] **平等選挙**]… 一票の価値が平等である
- ・^[3] **秘密選挙**]… だれに投票したかを秘密にできる
- ・^[4] **直接選挙**]… 有権者が自分で直接投票できる



■ 主な選挙制度

- ①^[5] **小選挙区制**]= 各選挙区で得票数一位の候補者が1人だけ当選する制度
 - 強い政党同士の争いになりやすく、二大政党制になりやすい。= 政権は安定
 - × 一方、少数政党が勝つ見込みは薄く、少数意見が反映されない。
 - ・ 1位の候補者以外は落選となるため、^[6] **死票**] (落選者への票) が多くなる。
- ②^[7] **大選挙区制**]= 1つの選挙区から二人以上の候補者が当選する制度。
 - ・ これを縮小した仕組みを日本では**中選挙区制**と呼び、1993年までの選挙で採用していた。
- ③^[8] **比例代表制**]= 1つの選挙区で、得票数に応じて当選者を配分していく制度
 - 死票が少なく、民意を忠実に反映する
 - × 少数政党が議席を取る可能性が高まり、多くの党が乱立しやすい。= 政権は不安定に

+ **α** 二大政党が拮抗する場合、少数政党がどちらにつくかによって政権が左右されることもある。
ここで中立政党や少数政党が事実上の最終決定権をもつこともあり、**キャスティング・ボード**という。

(II) 日本の選挙制度

■ 日本の選挙権拡大 ※有権者の人口比は、法改正直後の国政選挙での数字

法改正年			有権者の人口比 [※]
1889	第1回選挙	直接国税15円以上を納めた25歳以上の男子	1.1%
1900	第7回選挙	直接国税10円以上を納めた25歳以上の男子	2.2%
1919	第14回選挙	直接国税3円以上を納めた25歳以上の[男子]	5.5%
1925	普通選挙法制定	満[25]歳以上の[男子] ★男子普通選挙実現	20.0%
1945	衆院選法改正	満[20]歳以上の[男女] ★普通選挙実現	48.7%
2015	公職選挙法改正	満[18]歳以上の男女	83.7%

■ 日本の選挙制度

従来の衆院選 …^[9] **大選挙区制**](日本では中選挙区制と呼んだ)：一つの選挙区から3～5名の当選者



同一政党での争いもあり、余分なカネがかかるという批判

1994 政治改革 →^[10] **小選挙区比例代表**]**並立制**が導入(衆議院)

★衆議院議員選挙のしくみ

小選挙区制	全国を289の選挙区に分ける→各 区1人 だけが当選	比例代表制	全国を11の選挙区に分け投票
--------------	-----------------------------------	--------------	----------------

例			
1位	トマト結衣(野菜党)	700票	○
2位	ゴリラ光太郎(動物党)	500票	×
3位	サーモン真紀(魚党)	300票	×
4位	レンジ純一(家電党)	200票	×

有権者は「**政党名**」を記入

票数に応じて議席数を配分

例	
野菜党	60%獲得→4人当選
動物党	30%獲得→2人当選
魚党	15%獲得→1人当選

- (1) 小選挙区と比例代表の両方に立候補することができる^[11] **重複立候補**]を認めており、小選挙区で落選しても、比例代表で**復活当選**することがある。
- (2) 比例代表の当選者は**あらかじめ名簿にて順位付け**されている=^[12] **拘束名簿式**]
同順位の場合もあり、その際は小選挙区の^[13] **惜敗率**]が高い方を優先的に当選させる

★参議院議員選挙のしくみ

選挙区制	原則都道府県ごとの選挙区に分ける→1～6人当選	比例代表制	全国を1つの選挙区として投票
-------------	-------------------------	--------------	----------------

例) 東京都は定数6名	例) 新潟県は定数1名
1位 ニンジン武夫(野菜党) 1200票 ○	ライオン電太(動物党) 1200票 ○
2位 キリン由紀子(動物党) 1000票 ○	ゴボウ雅夫(野菜党) 1000票 ○
3位 マグロ慎之介(魚党) 800票 ○	ウニ京助(魚党) 800票 ○
4位 玉ねぎ次郎(野菜党) 550票 ○	
5位 長ネギ五郎(野菜党) 450票 ○	
6位 トースター蓮(家電党) 380票 ○	
7位 バンダ俊輔(動物党) 300票 ×	
8位 サンマ早紀(魚党) 280票 ×	
9位 ミキサー正人(家電党) 200票 ×	

TOPIC! 原則は都道府県ごのだが、**2016年の参院選から鳥取島根/徳島高知が合区**となった

有権者は「**政党名**」か「**候補者名**」を記入

票数に応じて議席数を配分

例	
野菜党	60%獲得→4人当選
動物党	30%獲得→2人当選
魚党	15%獲得→1人当選

・「野菜党」と書かれた票→「野菜党」の獲得票
・「レタス潤(野菜党候補者)」と書かれた票→「野菜党」の獲得票

- (1) 選挙区と比例代表の**どちらかに**立候補することができる。衆とは異なるので要注意。
- (2) 比例代表の候補者は**順位付けされていない**=^[14] **非拘束名簿式**]**比例代表制**
どの政党が何議席獲得するかについては、衆議院と同様の方法で決定するが、実際の当選者は、候補者への票数が多い順に決められる。=人気順で当選者を決定!

+a 選挙制度の補足

- (1) 衆議院小選挙区の議席配分方法で^[15] **アダムズ方式**]方式を採用へ!
各都道府県の人口比率をより反映できるしくみであり、2022年以降の衆院選から導入される。
- (2) 参議院選挙区で一票の格差是正のため、**鳥取島根と徳島高知**が^[16] **合区**]扱いに
- (3) 参議院比例代表において、^[17] **特定枠**]の導入
基本は非拘束名簿式を採用する参院選であるが、一部特例で拘束名簿式を活用できるように。

(Ⅲ) 選挙をめぐる課題

□ 投票率の低下

→特に世代間の格差が大きく、高齢者になるほど投票率が上がるため、現在の政治は高齢者に有利な政策が実施されやすいといわれる(= **シルバーデモクラシー**)

□ [18 **一票の格差**] : 人口や議員定数の関係で、一票の価値に不平等が生じている。

※2024 衆院選 **2.06** 倍 2022 参院選 **3.03** 倍

解説💡 「一票の格差」とは？

入試でも頻出となっているので丁寧に理解してほしいところ。右の表のように、同じ1人の当選者を出す選挙区で人口に差があると、一方では3000票を得たのに落選し、一方では600票でも当選…という事態が起きる。このように、1票の重みに差が

生まれる問題を、**一票の格差**という。

右の場合、この二つの選挙区間では10倍の格差があるといえる。ちなみに最も格差が大きくなった選挙は衆で4.99倍(1972)、参で6.59倍(1992)と

なっており、選挙区や定数の変更させながら格差是正に努めている。



□ **選挙運動の規制** : [19 **公職選挙法**]にて、立候補前の事前運動・戸別訪問・署名運動を禁止

[20 **連座制**]…候補者に近い関係にある者が違反で逮捕されたとき、

候補者自身に関係していなくとも当選が無効になる制度

(ex) 選挙運動の期間前後

左：選挙運動期間前、「本人」というタスキをつけて演説

右：選挙運動解禁後、「とよた真由子」というタスキで演説



□ [21 **在外投票**] (= 海外に住む日本人) の投票が可能に

□ インターネットによる運動解禁：2013年にインターネットやSNSでの選挙運動が解禁に。

身近に政治の関心を持てるようになるが、安易な発言は注意する。

また、満18歳未満の選挙運動は禁止されている

※ここで注意したいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

□ 政治的無関心の問題

[22 **世論**] : 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える

世論調査の結果や、**内閣支持率**などを新聞やテレビで公開している。

しかし、マスメディアの質問の仕方やアンケートの作り方、グラフの見せ方などによって、印象操作ができてしまうため、鵜呑みにしすぎないような注意が必要。

あふれる情報を読み解き取捨選択する[23 **メディアリテラシー**]が求められている。

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では、主体性が失われつつある。特定の支持をもたない[24 **無党派層**]が多く、

若者を中心として[25 **政治的無関心**]が多いことも今日の問題である。

(IV) 世論の影響

■ メディアの弊害

世論を形成するにあたり、マスメディアが大きな影響を与えることから、^[26] **第四の権力**]とも表現される。また、近年の世論形成にはインターネットや SNS を用いた^[27] **ソーシャルメディア**]の影響が大きくなっている。

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では主体性が失われつつある。メディアによって^[28] **世論操作**]されやすいことにも繋がる。インターネットのフィルターバブルや、ニュース番組・新聞社等の意図的な情報操作に惑わされない力が必要になる。

Column 世論操作の一例

(例) 石破新総裁が誕生した直後のニュース番組 左は ANN(テレビ朝日) 右は N スタ(TBS)

緊縮財政・金利上昇を支持する(と言っていた)石破氏が総裁になったことで、円高が進行した様子だが、左側はドル円相場の数字順を逆にすることによって、いかにも良くなったような印象を与える。(一般的には右側が適当)



テレビ局や新聞社も基本は中立だが、若干の偏りがある。同じニュースでも報じ方によって異なる印象を与える場合がある。主要な新聞社はテレビ局とも

繋がりがあり、連動することも多い。

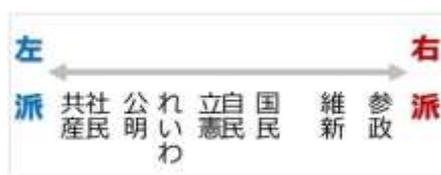
明確な定義はないが、朝日・毎日は左寄り(革新)、読売・産経は右寄り(保守) 日経は中立と考えられる。

	朝日新聞	読売新聞	毎日新聞	産経新聞	日本経済新聞
創業	1879年	1874年	1872年	1933年	1876年
発行部数	2位 4,751,459部	1位 7,166,592部	3位 2,011,884部	5位 1,205,916部	4位 1,887,070部
関係テレビ局					

+ α 右や左って何? ~政治的立場を示すことば~

左派 (=革新・リベラル)

- ・全体的なイメージ=やさしい
- ・経済のスタンス=平等・分配
- ・政府の大きさ=大きな政府
- ・社会福祉=高福祉・高負担
- ・外交、軍事=平和主義重視
- ・協調関係=労働組合・労働者
- ・多様性重視(LGBT・夫婦別姓)



右派 (=保守)

- ・全体的なイメージ=たくましい
- ・経済のスタンス=競争・成長
- ・政府の大きさ=小さな政府
- ・社会福祉=低福祉・低負担
- ・外交、軍事=防衛強化
- ・協調関係=大企業・経済団体
- ・規制緩和

あくまで大まかな立場を図示したものであり、財政の考え方(緊縮 or 積極)、消費税への立場など、比較内容によって各政党の立場は多様になる。自分の関心がある内容から注目してみよう!